



三井海洋開発株式会社
2023年12月期 第2四半期
決算説明会

2023年8月14日



1. 事業の概況
2. 持続的成長に向けた取り組み
3. 決算概要

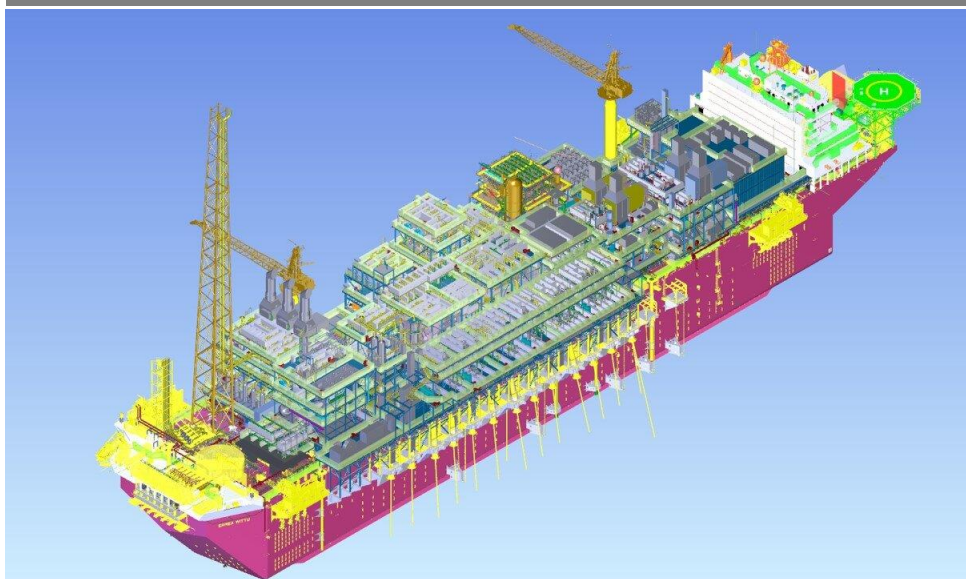
(注意事項)

当社の連結業績は、2021年度連結会計年度の期末決算より従来の日本基準に替えて国際財務報告基準(以下、IFRS)を適用しております。また通貨単位につきましても従来の日本円に替えて米ドルでの表示に変更となっております。

これにより本資料内では過年度数値について以下の取り扱いをしております。

- ・2020年度以降：IFRSベースに準拠(米ドル)
- ・2019年度：日本基準(日本円)の決算数値を各決算期末の対顧客電信直物相場の仲値(1米ドル=109.54円)で米ドルに換算

Uaru FSP0



顧客	ExxonMobil
契約形態	建造工事+オペレーション(10年)
鉱区	Stabroek
水深	1,690m
原油生産量	250,000 bopd
ガス生産量	540 mmscfd
貯油能力	2,000,000 bbls

- 当社初のガイアナ案件
- 2003年以来初のExxonMobil社からの受注



BM-C-33 FPSO



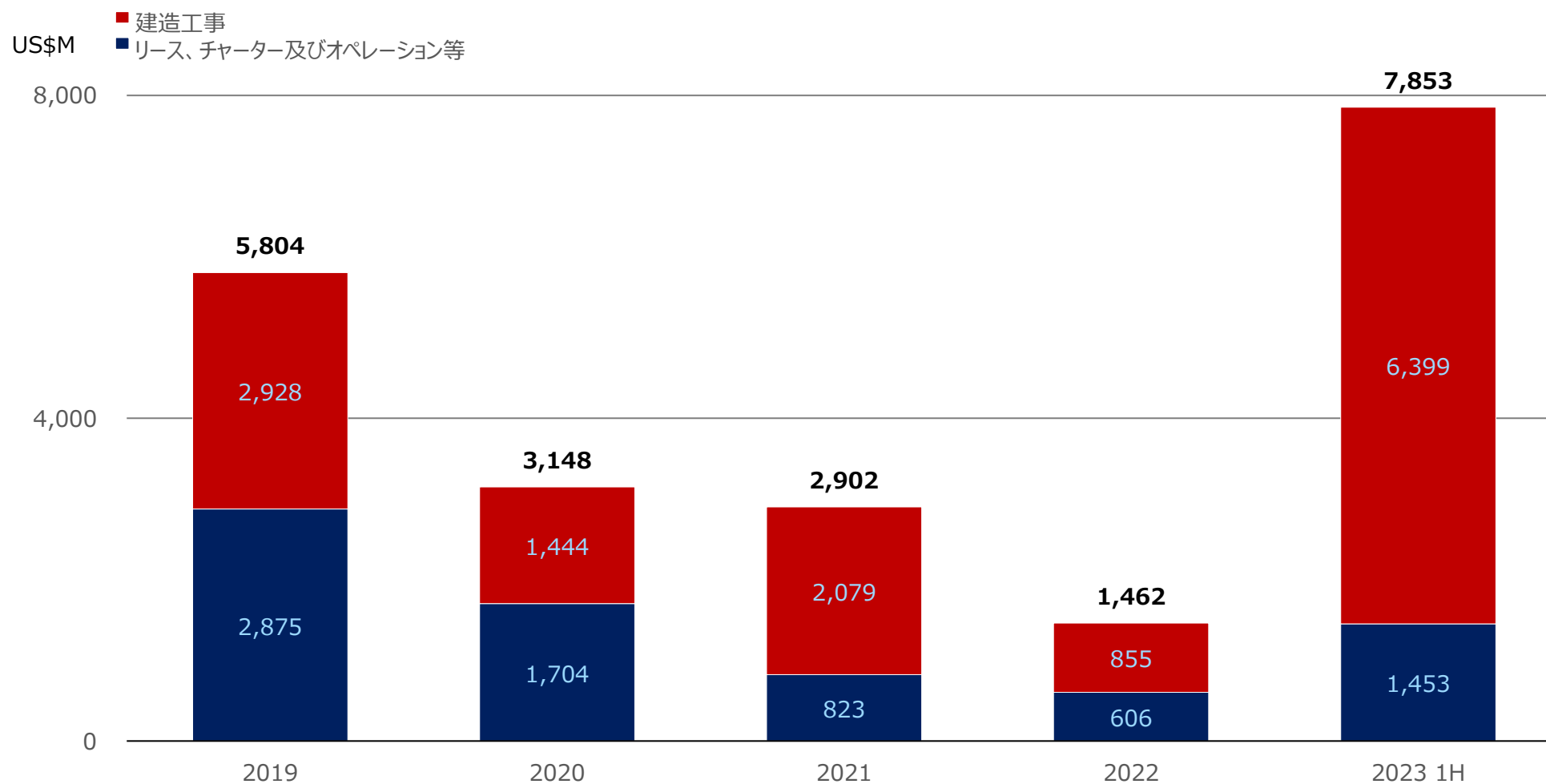
顧客	Equinor
契約形態	建造工事+オペレーション(1年)
鉱区	BM-C-33
水深	2,900m
原油生産量	125,000 bopd
ガス生産量	565 mmscfd
貯油能力	2,000,000 bbls

- 2基目のコンバインドサイクル発電システム搭載FPSO
- 10基目のプレソルト向けFPSO




2023年上半期：受注高

受注高は上半期で7,853百万ドルと、**過去最高(年間)**となる見通し



2023年上半期：建造工事の状況(2023年6月現在)

	FPSO Anita Garibaldi MV33	FPSO Sangomar	FPSO Bacalhau	FPSO Uaru	FPSO BM-C-33
顧客	Petrobras	Woodside	Equinor	ExxonMobil	Equinor
契約形態	EPCI + Time Charter (25年)	Purchase Contract + O&M (10年+1年毎x10の延長オプション)	EPCI + Short term O&M	EPCI + O&M (10年)	EPCI + Short term O&M
引渡し(予定)	2023年	2024年	2024年	2026年	2027年
鉱区	Marlim	Sangomar	Bacalhau	Stabroek	BM-C-33
所在地	ブラジル 	セネガル 	ブラジル 	ガイアナ 	ブラジル 
水深	670 m	780 m	2,027 m	1,690 m	2,900 m
貯油能力 生産量	1,000,000 bbls 80,000 bopd 248 mmscfd	1,300,000 bbls 100,000 bopd 130 mmscfd	2,000,000 bbls 220,000 bopd 500 mmscfd	2,000,000 bbls 250,000 bopd 540 mmscfd	2,000,000 bbls 125,000 bopd 565 mmscfd
					

FPSO Almirante Barroso MV32



顧客	Petróleo Brasileiro S.A. (Petrobras)
契約形態	建造工事+チャーター(21年)
鉱区	Búziosフィールド
水深	1,900m
原油生産量	150,000 bopd
ガス生産量	212 mmscfd
貯油能力	1,400,000 bbls

2023年5月にチャーターを開始

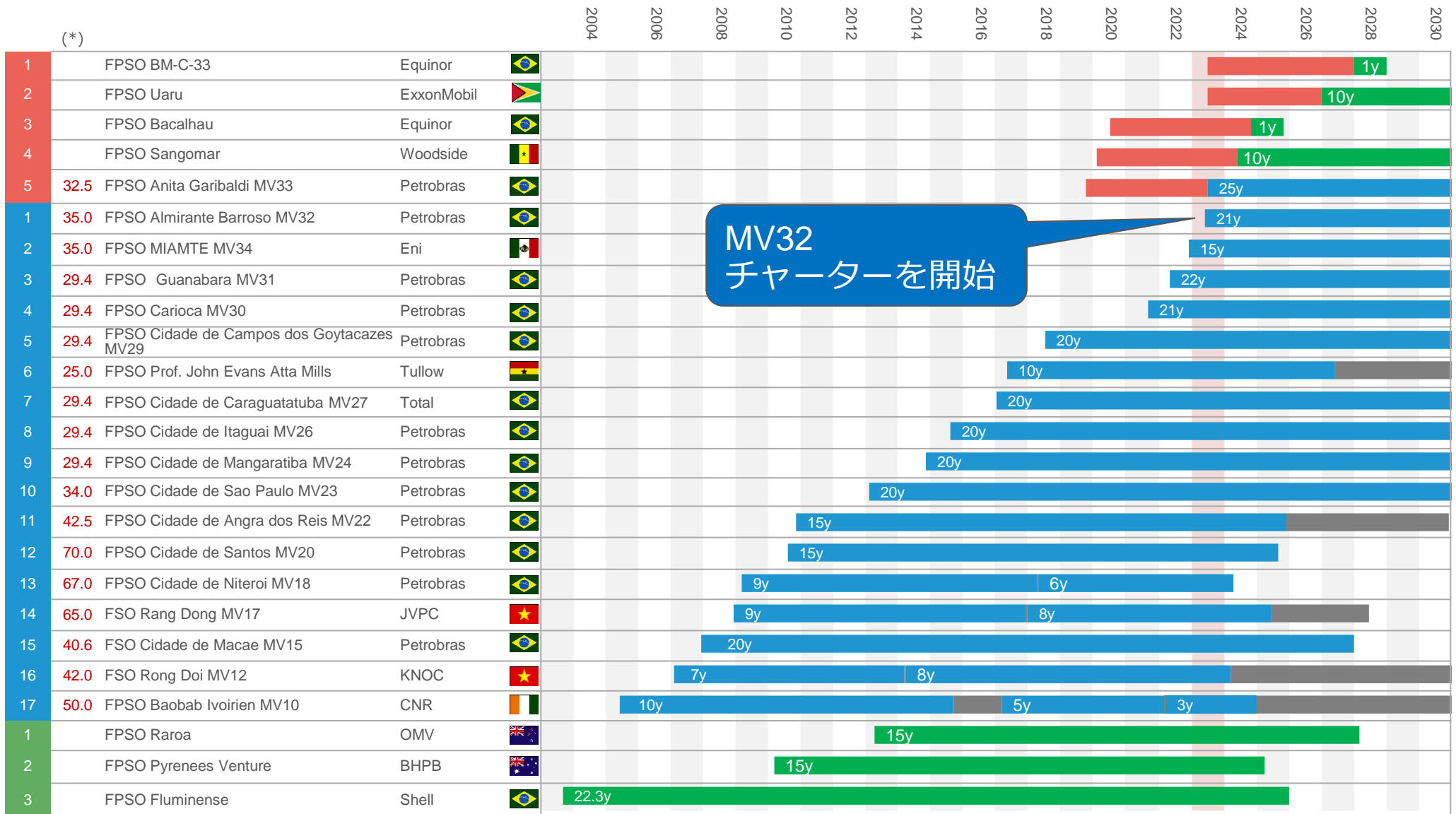


1. 事業の概況

EPC(I)/ チャーター、オペレーション期間

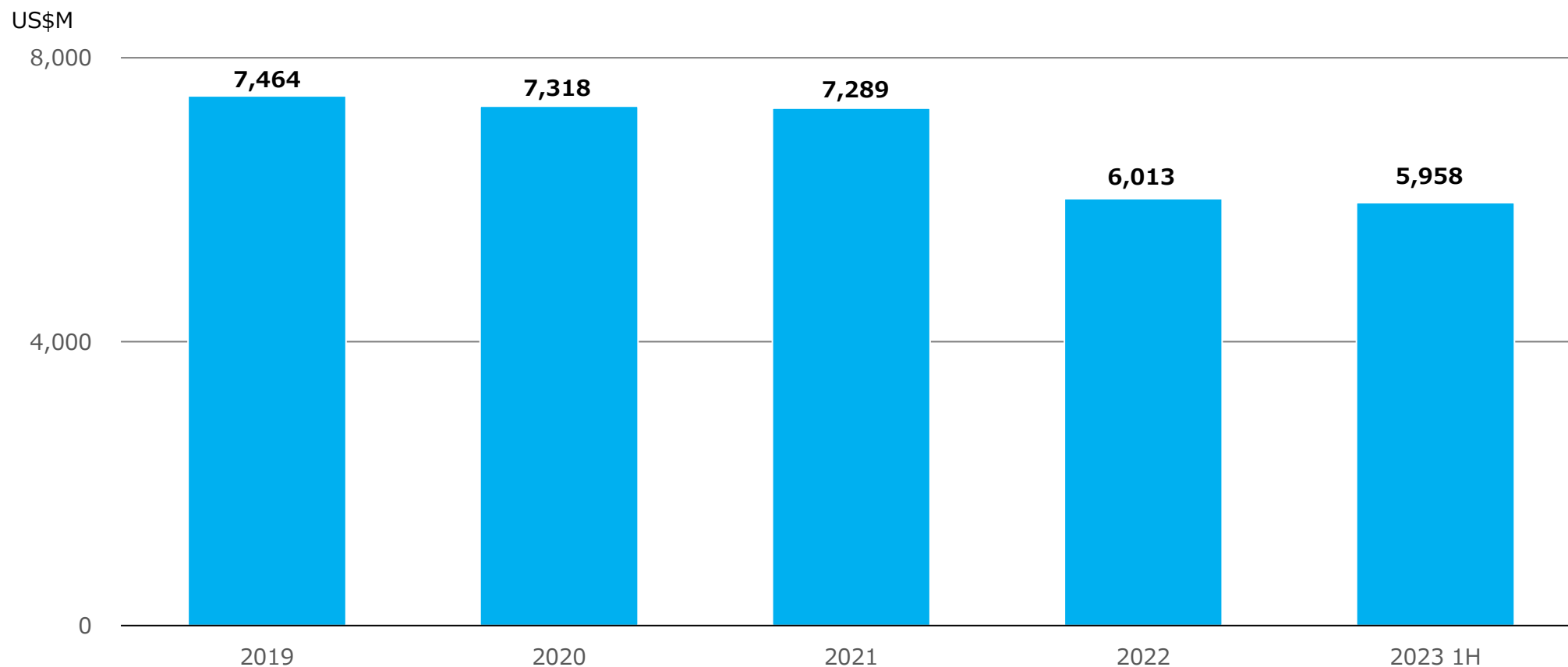
2023年7月現在

- EPC(I) 期間
- チャーター期間 (確定)
- チャーター期間 (オプション)
- オペレーション期間



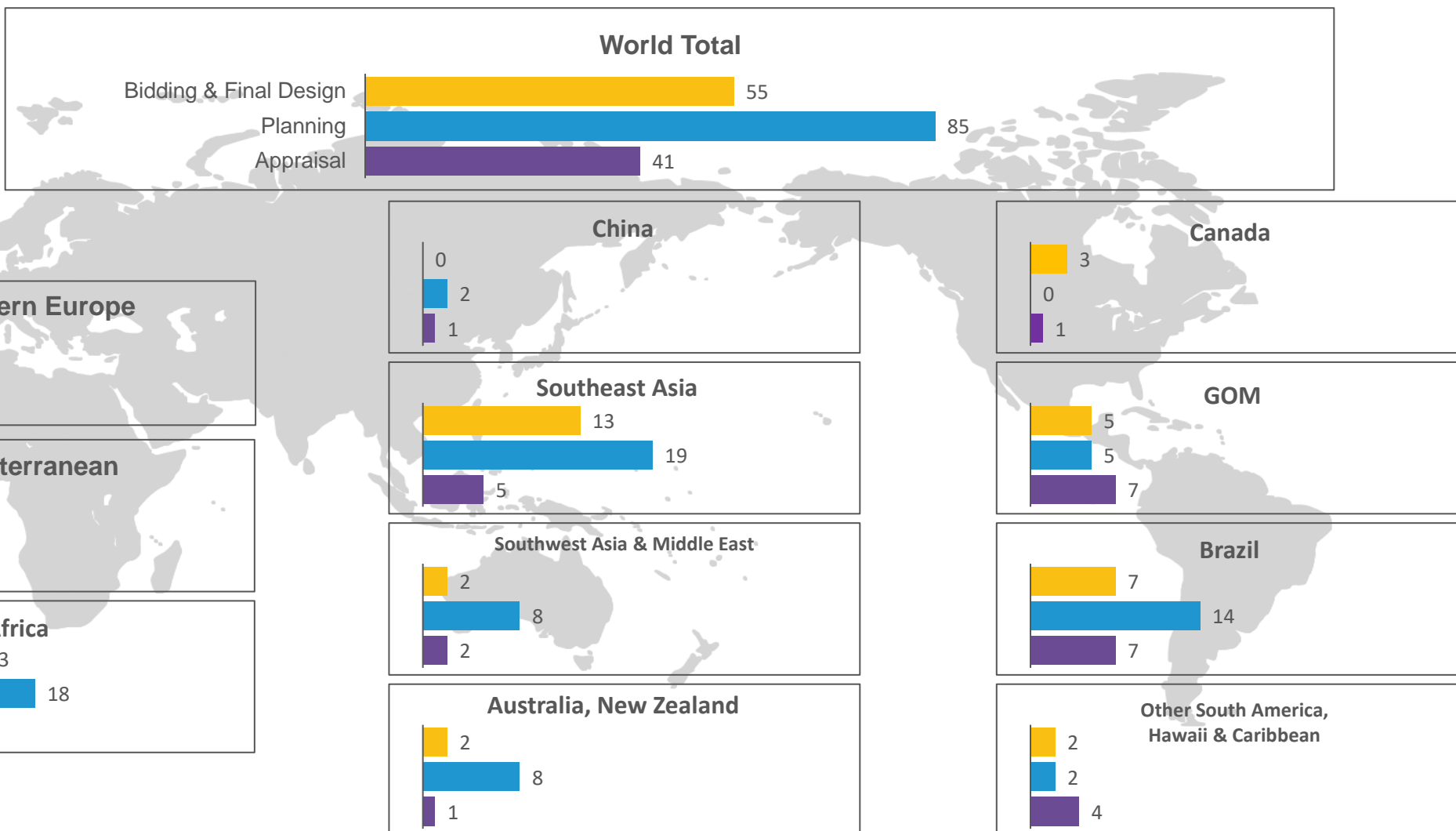
(*) 持分法適用会社当社グループ保有 (%)

豊富な受注残高により中長期的に**安定した収益を確保**



プロジェクト計画予想

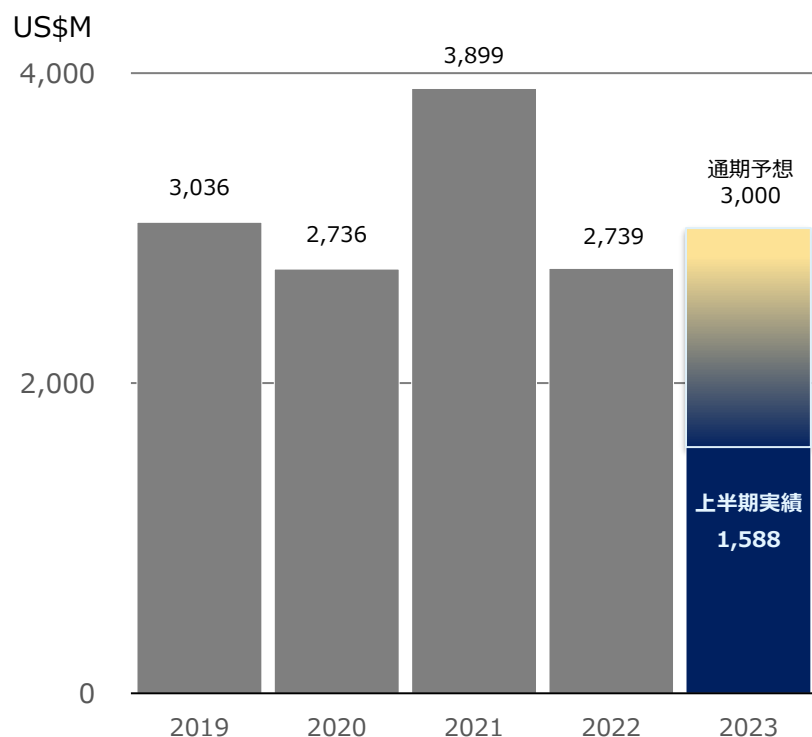
浮体式海洋石油・ガス生産設備の利用が予想されているプロジェクト数（2023年7月現在）



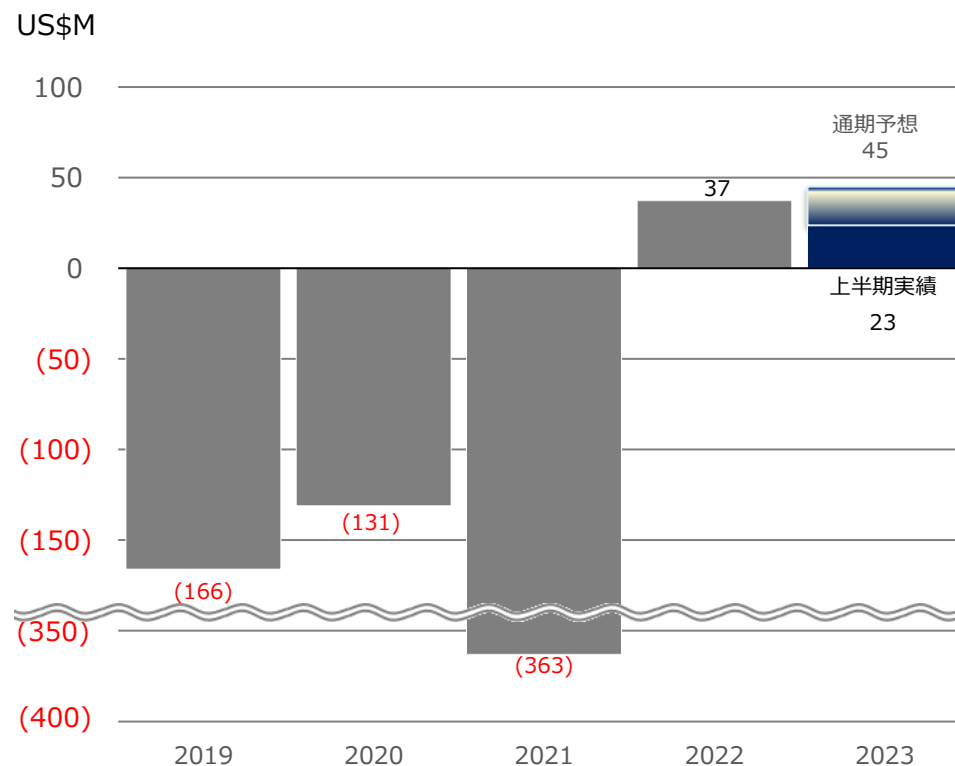
2023年12月期：業績予想

- 既存案件であるWoodside Sangomar、Equinor Bacalhauに加え、5月に受注したExxon Uaru、及びEquinor BM-C-33の建造工事の進捗により、売上収益はUS\$3,000Mを見込む
- FPSOの追加修繕費用を見込むものの、上記2件の新規受注案件の建造工事進捗や、MV32、MV33のチャーターインによる持分法投資利益や受取利息の積み上げによりUS\$45Mの当期利益を確保

売上収益



親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)



【概要】

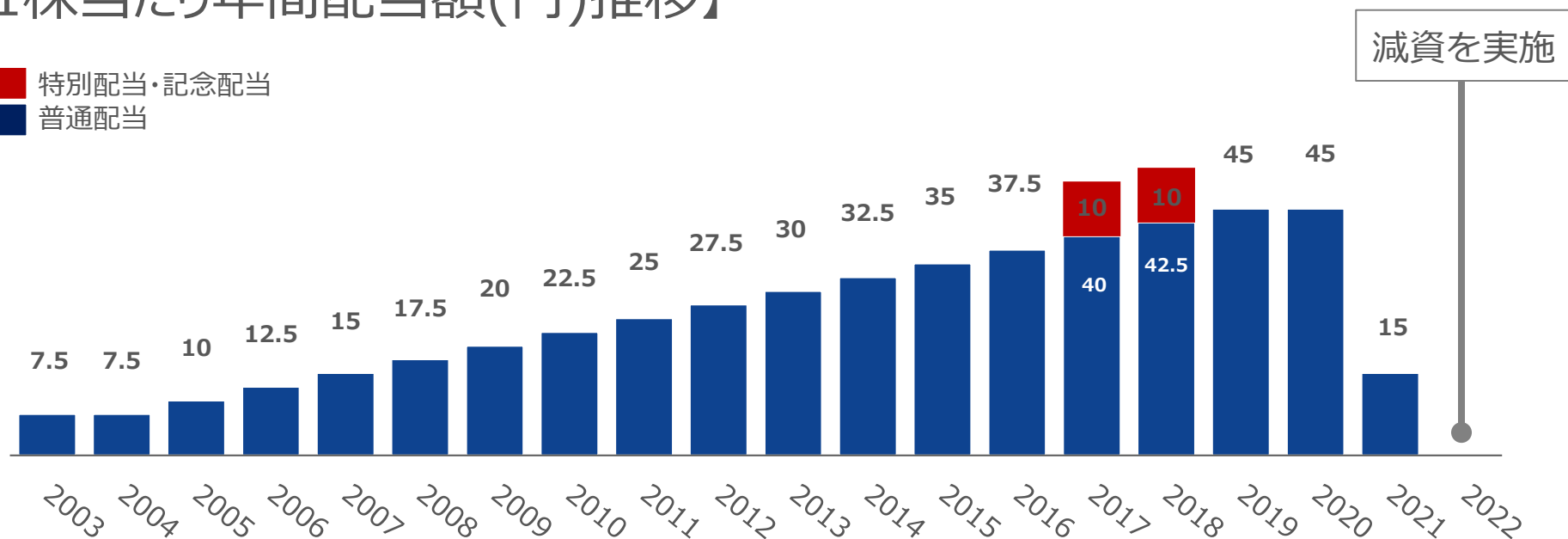
- (1) 発行新株式数：普通株式11,937,300株
- (2) 調達資金の額：15,088,747,200円
- (3) 資金使途：チャーター事業を営む特別目的会社に対する投融資
- (4) 引受先：株式会社商船三井(10,162,300株)、三井物産株式会社(1,775,000株)
- (5) その他：同時に引受先2社と、それぞれ業務提携契約、業務提携変更契約を締結

【当第三者割当増資の意義】

- FPSO事業拡大に向けた**財務体質の維持・強化**
- 引受先との協力関係を強化し、プロジェクトの信用力を高めることによる、金融機関からの**資金調達力の強化**
- 経営資源、ノウハウ、ブランド、顧客基盤等を相互活用することで発生する**シナジー効果**、業界における**プレゼンスの向上**、及び**競争力強化**

【1株当たり年間配当額(円)推移】

■ 特別配当・記念配当
■ 普通配当



- 2004年の東証一部指定銘柄以降、2019年まで**每期連続増配**
- 新型コロナウイルス感染症の影響による業績悪化を受け、2022年は無配
- **復配に向けて尽力**

【減資について】

単体利益剰余金の欠損を補填し、財務体質の健全化を図り、株主還元を含む今後の資本政策の柔軟性及び機動性確保を目的として実施したものの。



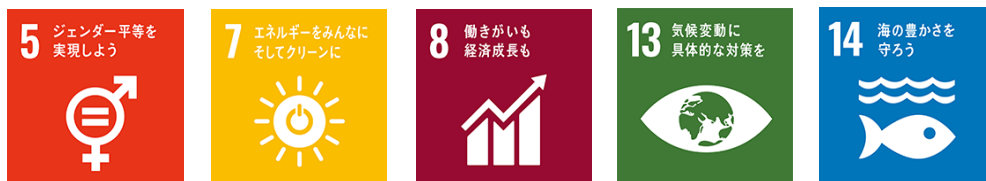
1. 事業の概況
 2. 持続的成長に向けた取り組み
 3. 決算概要
-

2. 持続的成長に向けた取り組み

取り組み概況

SDGsへの取り組み

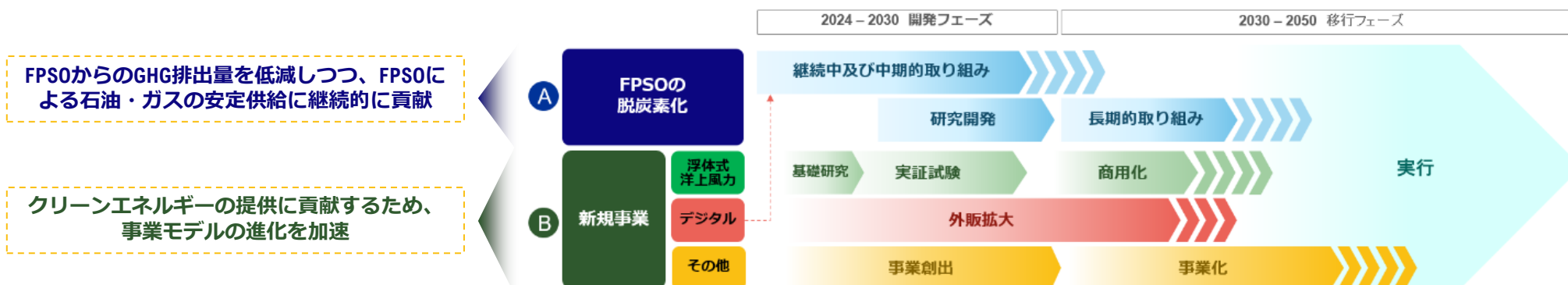
- SDGsが掲げる17の目標の全ては、エネルギー事業を手掛ける当社に直接的または間接的に関連していますが、中でも当社が最も貢献できると考える5つの目標（目標5、7、8、13、14）を選定し重点的に取り組みを推進しています。



- 当社は、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に署名し、2020年1月13日付で参加企業として登録されました。
- 当社は、UNGCが提唱する「人権の保護」「不当な労働の排除」「環境への対応」「腐敗防止」に関わる10の原則を支持し、社会課題解決に対する社員一人ひとりの意識向上を図るとともに、海洋と資源に関わる事業をグローバルに展開する企業として、持続可能な社会の実現にむけ、積極的に社会課題の解決に取り組んでまいります。

2050年「ネットゼロ」達成に向けての取り組み

- FPSOの脱炭素化やその他新規事業開発といった下記の戦略を進め、2050年「ネットゼロ」*1 達成に向けて取り組みます。



Notes:

- 当社のScope 1、Scope 2 及び Scope 3 (Category 13 - リース資産のみ) 排出を削減の対象とし、その残存量については新規事業によるGHG排出量削減を削減貢献としてオフセットする。例：従来型エネルギーを洋上風力発電に置き換える事により生じる削減貢献。
-上記道筋の中で2030年までに Scope 1 and 2 についてネットゼロ達成を目指す。

これからの三井海洋開発(MODEC)

2050年「ネットゼロ」
達成を目指す

A MODEC FPSOからの排出削減

B 新規事業による削減貢献

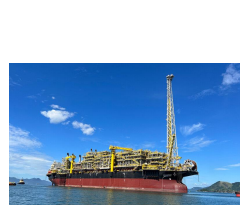
クリーンエネルギーを供給する革新的なソリューション

第三者の設備においても貢献するデジタル事業

クリーンエネルギーを生産する浮体式洋上風力

デジタルイゼーションによりカーボンフットプリントを
最小限に抑えながらエネルギーを安定的に供給し続けるFPSO

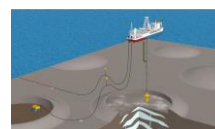
売上高構成比のイメージ



FPSO



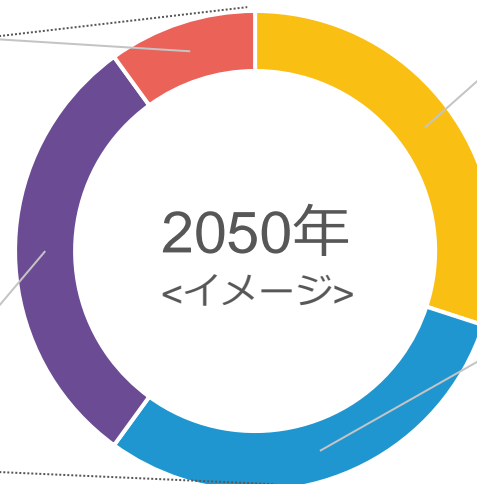
現在



その他

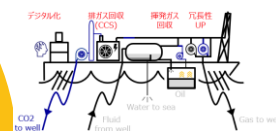


デジタル



2050年
<イメージ>

FPSO(低炭素)



浮体式洋上風力発電



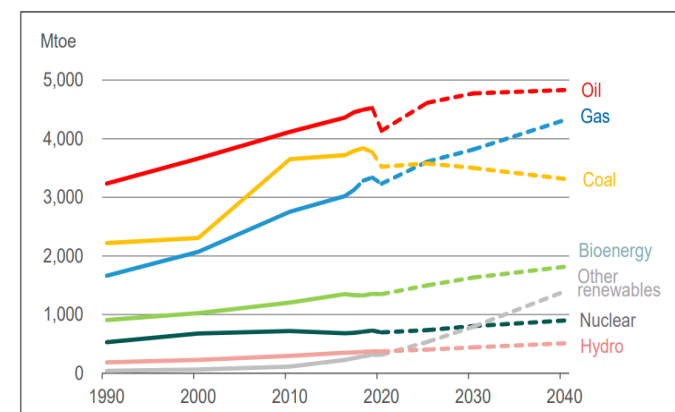
FPSOの低炭素化への取り組み

中長期的にもOil・Gasは世界の主要なエネルギー源の一つであり続ける見込み

FPSOの低炭素化への取り組みを今後加速



足元の漸増的な技術改善の実行と、中長期タイムスパンの劇的な技術革新の両輪を回す



Source: World Energy Outlook 2012 & 2020 – Stated Policies Scenario (IEA)

現状の取り組み

- 操業中のFPSOからのGHG排出量の算定を2021年より開始
2021年度排出量につきウェブサイトにて公開済

CO2e: 温暖化係数をもとに全GHGをCO2量に換算した値

	FY 2019	FY 2020	FY 2021	FY 2022
Scope 1	0	0	0	0
Scope 2	0.2万t – CO2e	0.1万t – CO2e	0.1万t – CO2e	0.1万t – CO2e
Scope 3	-	-	380万t – CO2e	520万t – CO2e

- Equinor Bacalhau FPSOが搭載する発電設備に、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせたコンバインドサイクル発電方式を採用。高温排ガスを熱回収し、総合熱効率を向上させる発電方式を採用することで、FPSOのオペレーション時における二酸化炭素排出量削減にも寄与



2. 持続的成長に向けた取り組み

洋上風力発電事業



<現在実施中>

2022~2024



要素技術の確立

(グリーンイノベーション フェーズ1)

MODEC 浮体・係留

東洋建設 係留基礎

古河電工 TLP用ケーブル

Jera 設計条件・風車調達

2024~2030



実証による検証・改善

(グリーンイノベーション フェーズ2) <注>

MODEC
 東洋建設 **古河電工** 他

実機サイズ風車による実証試験
▼15MWクラス風車による実証試験

社会実装前提のサプライチェーン
▼量産が可能なサプライチェーン確立

低コスト施工・管理技術の開発
▼材料、工法での低コスト化

2030年代初頭



商業ウインドファーム

(社会実装)

ターゲット:
第1号浮体式
商業ウインドファーム

継続的なウインドファーム開発
▼毎年500MW規模の事業創出を目指す

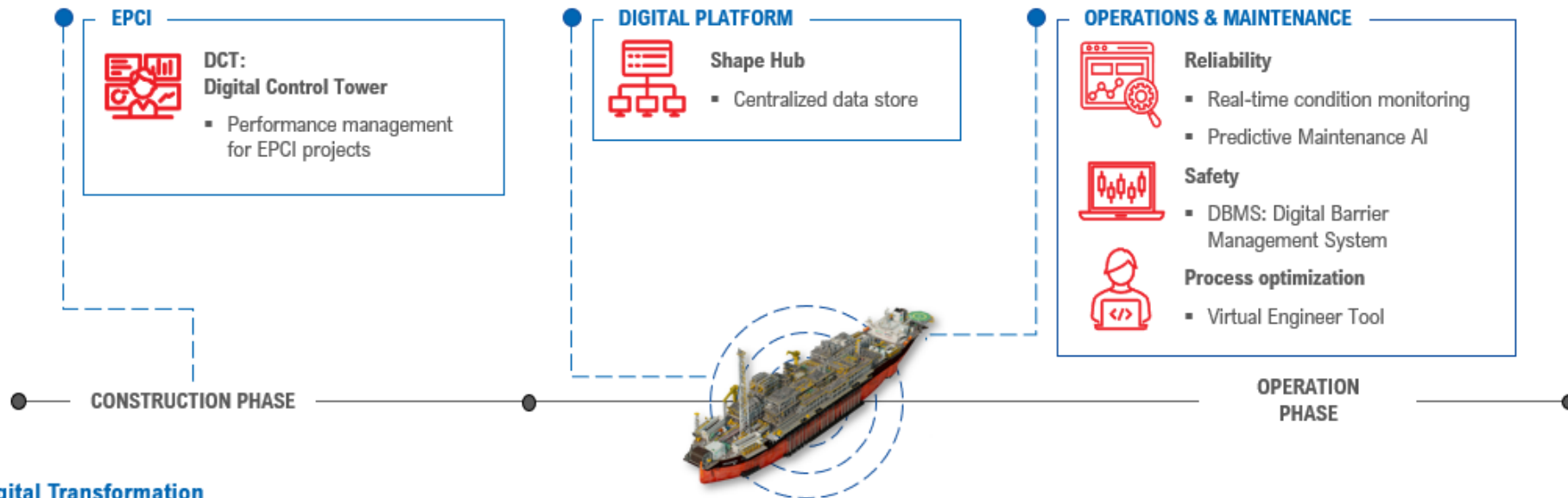
漁業協調型のウインドファーム
▼沖合の漁業実態と協調した開発計画
▼ウインドファーム内の航行や漁業についての制約を可能な限り低減する

2050
カーボン
ニュートラル

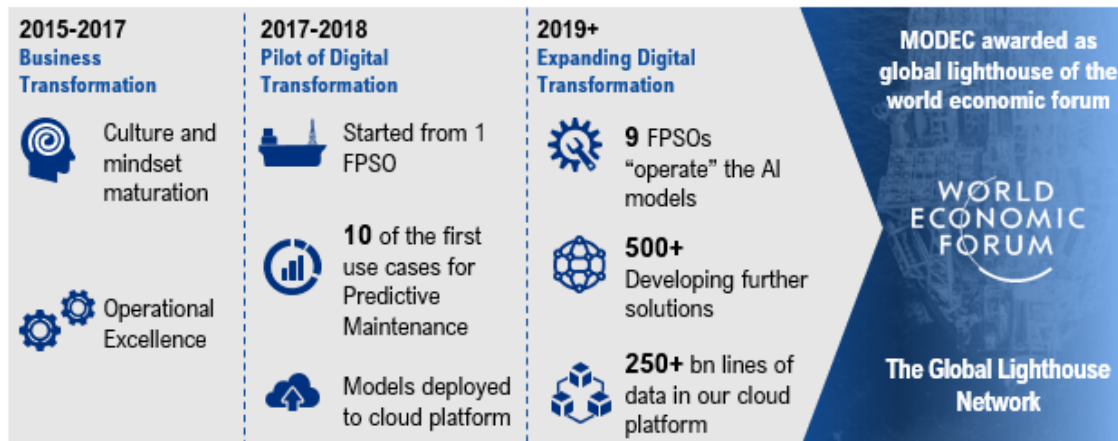
<注> 今秋公募予定

2. 持続的成長に向けた取り組み デジタル事業

- Mode is developing a wide range of products to address the pain of developers of large infrastructure projects, both in construction and operation. Expansion of management and technical capacity with artificial intelligence.



Digital Transformation



- MODEC's FPSO Cidade de Campos dos Goytacazes MV29 was recognized by the World Economic Forum as Lighthouse of the 4th Industrial Revolution¹
- The award landmarked the first time that a Latin American facility as well as a facility operated by a Japanese company was included in the network



1st
Japanese company



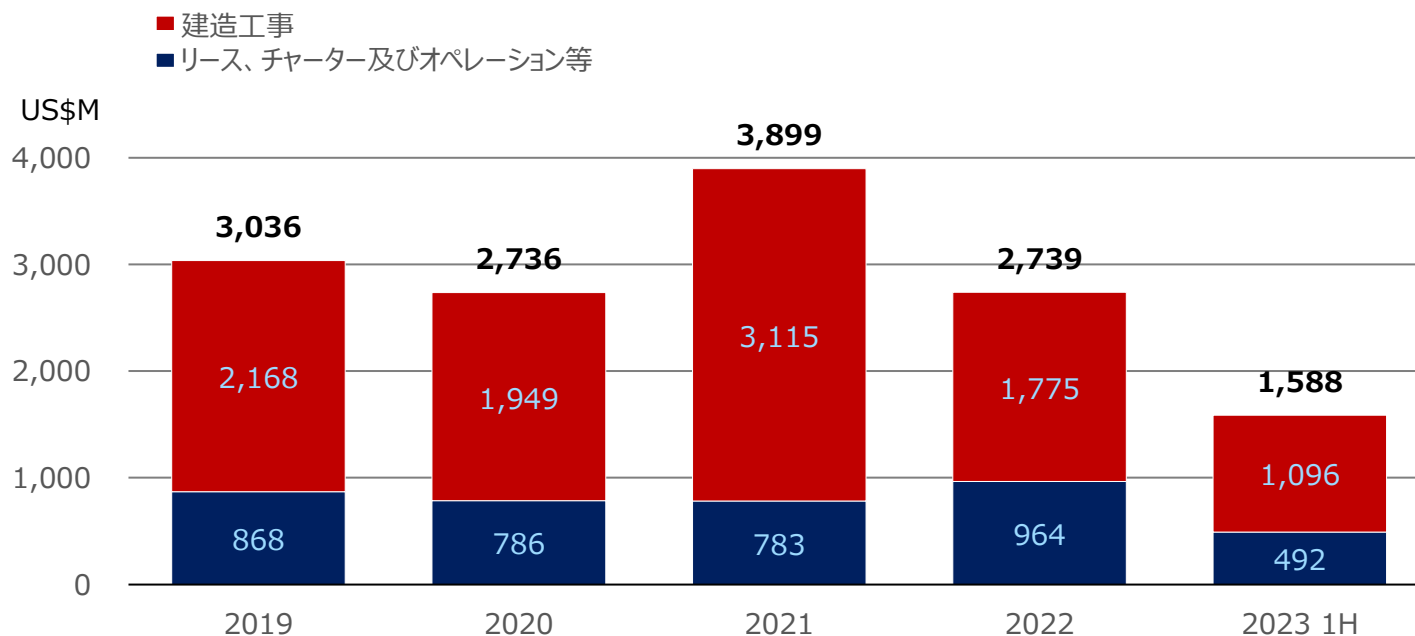
1st
Site in LatAm

Notes:

(1) The Global Lighthouse Network is a community of production sites and other facilities that are world leaders in the adoption and integration of the cutting-edge technologies of the Fourth Industrial Revolution (4IR). Lighthouses apply 4IR technologies such as artificial intelligence, 3D-printing and big data analytics to maximize efficiency and competitiveness at scale, transform business models and drive economic growth, while augmenting the workforce, protecting the environment and contributing to a learning journey for all-sized manufacturers across all geographies and industries.

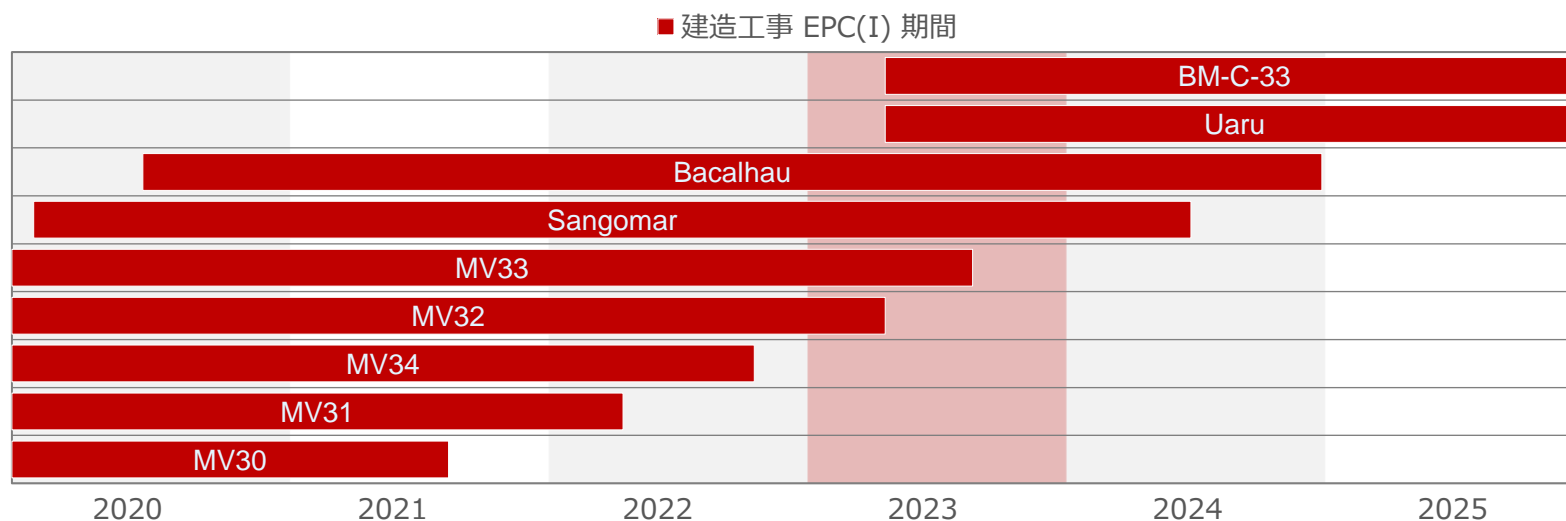
1. 事業の概況
2. 持続的成長に向けた取り組み
3. 決算概要





建造工事が順調に進捗

Woodside Sangomar、Equinor Bacalhau、Exxon Uaruを中心とした建造案件の進捗が売上収益に貢献



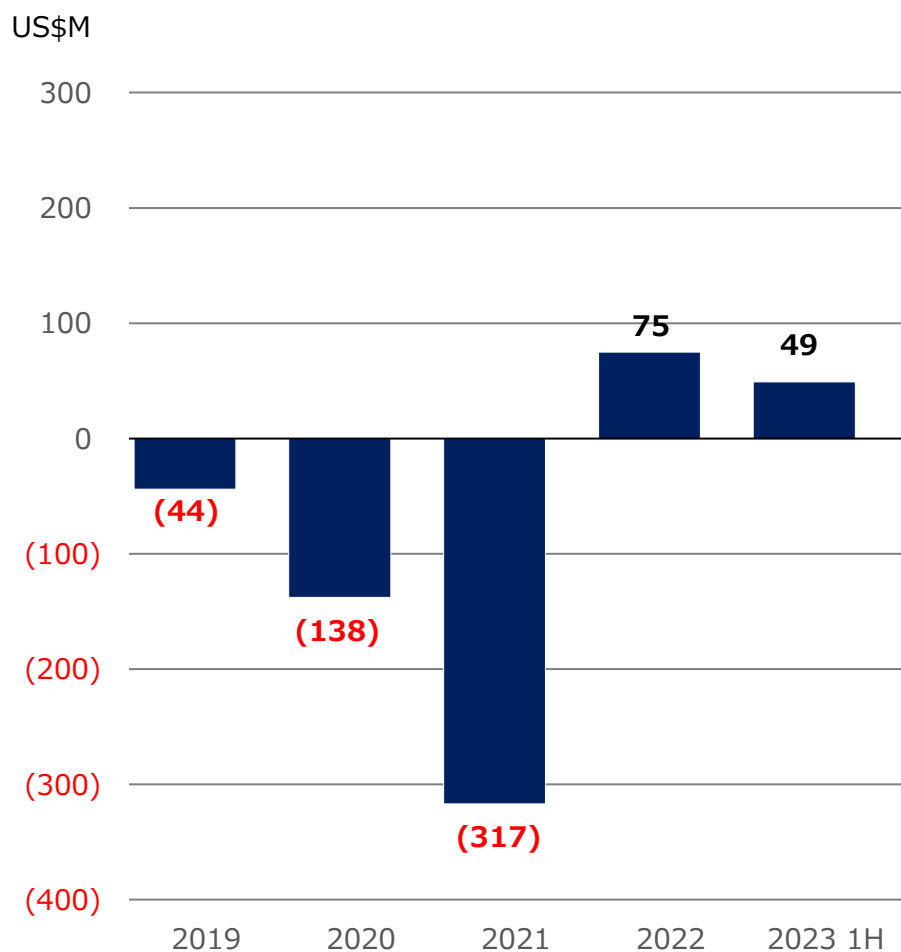
2023年度 1H
建造工事売上明細
(US\$M)

Bacalhau	: 200
Sangomar	: 150
Uaru	: 550
BM-C-33	: 50

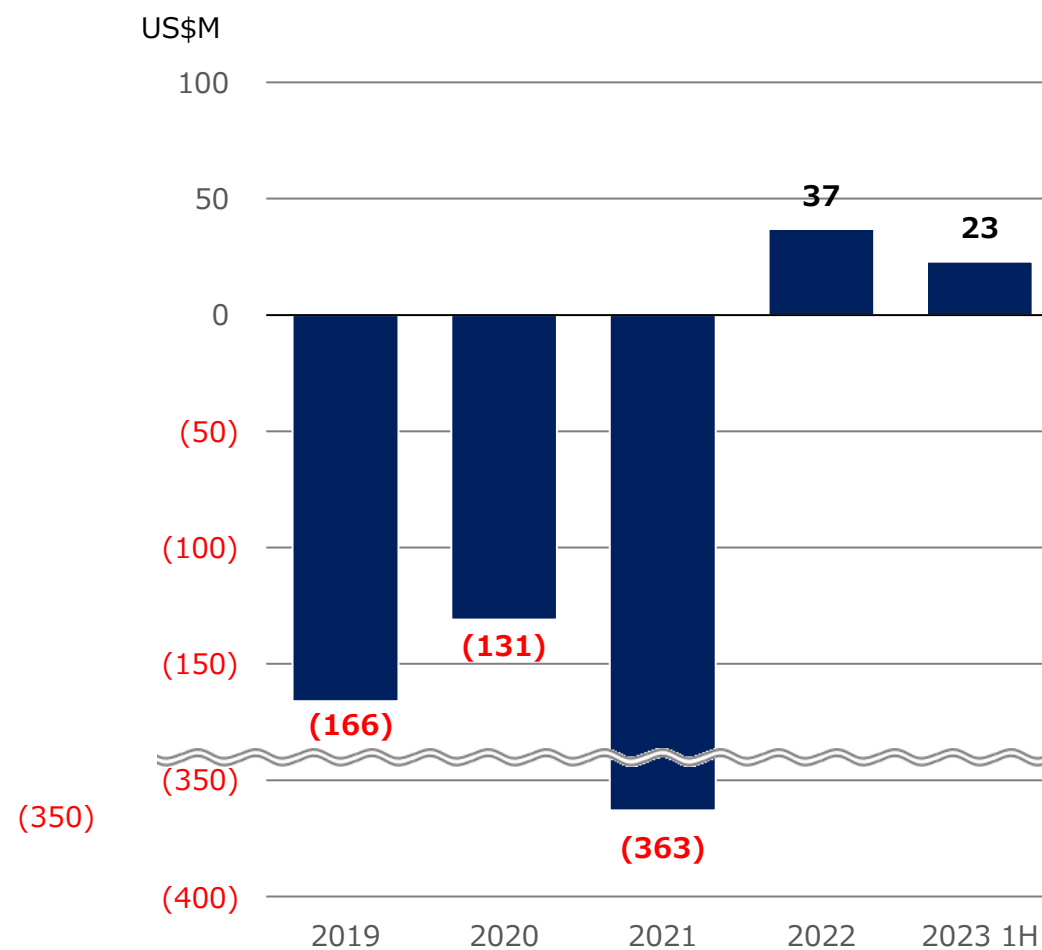
営業利益・親会社の所有者に帰属する当期利益

営業利益 US\$49M、当期利益 US\$23M、EBITDA US\$173M(P26参照)を計上

営業利益(損失)



親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)

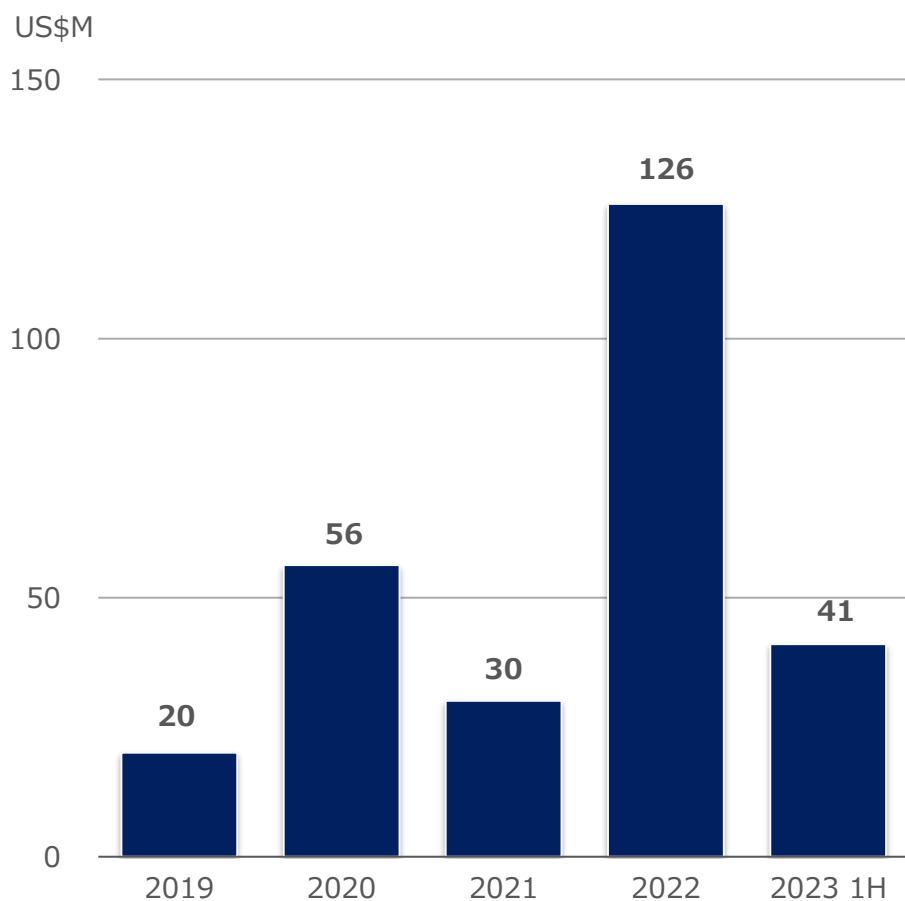


(Note) 2020年度よりIFRSに移行し、持分法投資利益等を営業利益として計上

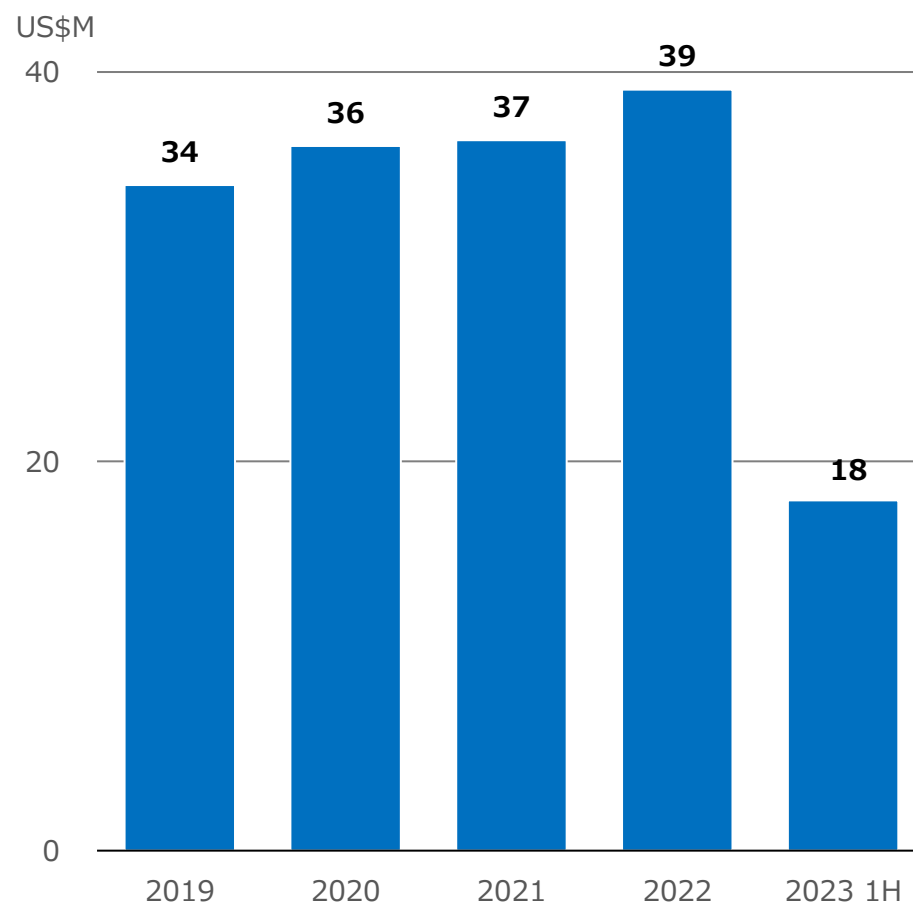
持分法投資利益・受取利息

チャーター関連収益（持分法投資利益及び受取利息）は順調に推移

持分法投資利益(チャーター関連会社)

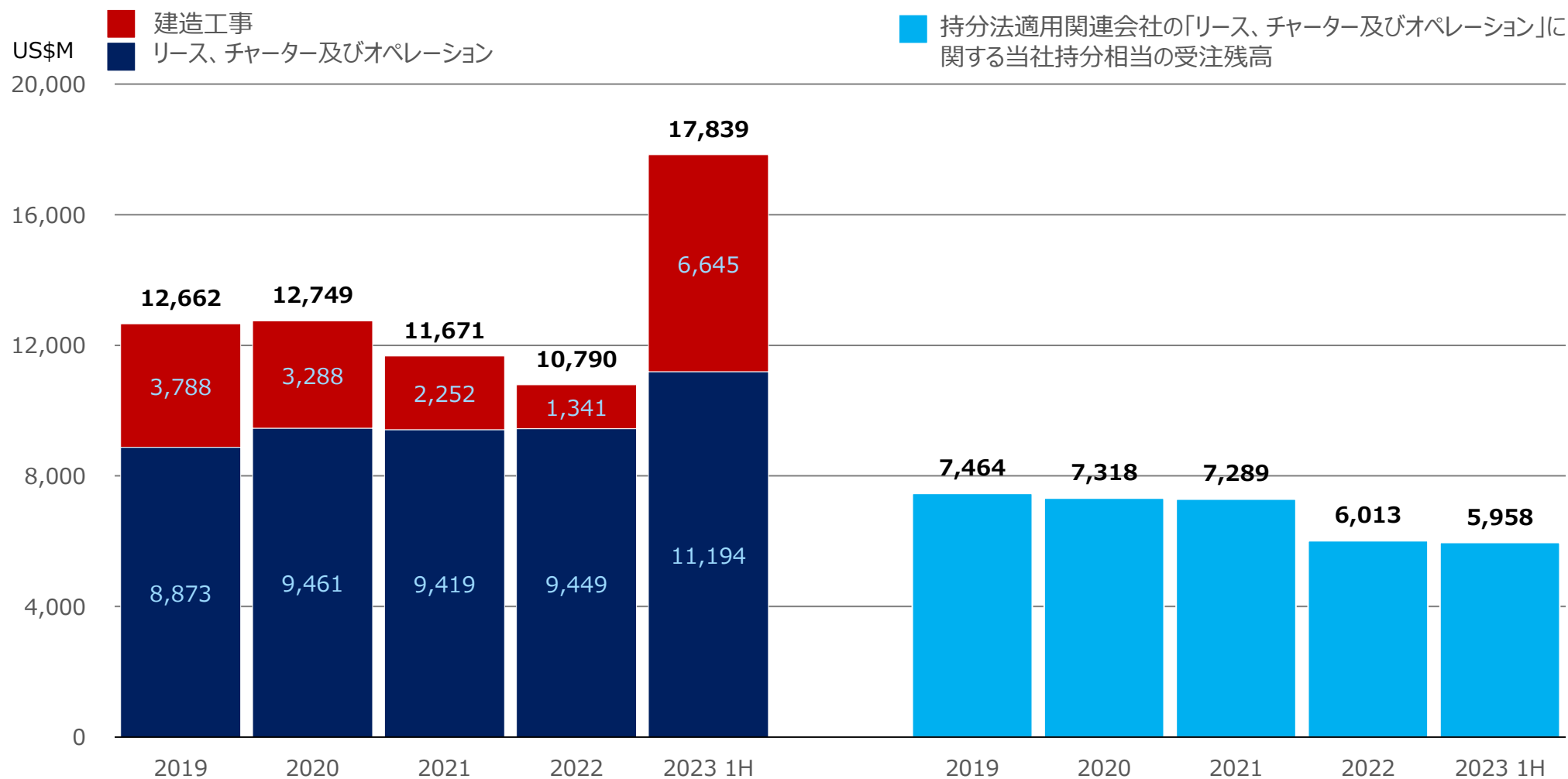


受取利息(チャーター事業関連)



受注残高

- 建造工事の受注残高は、2件の新規受注案件により大幅に増加
- チャーター・O&Mの受注残高は長期契約により高位で安定的に推移



3. 決算概要

Adjusted EBITDA



	GAPPベース	Adj. GAAPベース(*)
EPCI + O&M Operations	\$ 64MM	\$ 64MM
Charter Operations	\$ 86MM	\$ 99MM
Service Fee (PL / CF)	\$ 22MM	\$ 21MM
利息の受取額 (PL / CF)	\$ 23MM	\$ 22MM
持分法による投資利益 (PL) / 配当金の受取額 (CF)	\$ 42MM	\$ 56MM
販売費および一般管理費 (PL)	\$ ▲78MM	\$ ▲78MM
減価償却費 (CF)	\$ 21MM	\$ 21MM
リース債務の返済による支払 (CF)	\$ ▲12MM	\$ ▲12MM
一過性コスト	\$ 80MM	\$ 80MM
Adjusted EBITDA	\$ 160MM	\$ 173MM

(*) Adj. GAAPのCharter OperationsはCFベース

- 配当金の受取額 (Adj. GAAP) : SPCからの配当金受領額
✓ 主に前年度までのチャーター収益を原資として実行された配当金

※ 配当金は各時点の現預金残高をベースにSponsor間の合意により実行されることから持分法利益とは認識タイミングに差異が生じる

- 一過性のコスト増加要因を調整

Covid-19影響

Covid-19に起因するEPCIの工事遅延等を集計

大規模修繕 (Special Maintenance)

MV22でフローテルを用いた修繕工事費用等を集計

財政状態およびキャッシュ・フロー

財政状態

単位：US\$M	2022.12	2023.6	増減
現金及び現金同等物	492	557	65
営業債権及びその他の債権	478	504	26
契約資産	257	261	4
持分法で会計処理されている投資	1,114	1,113	-1
長期貸付金	365	355	-10
資産合計	3,136	3,216	80
	2022.12	2023.6	増減
営業債務及びその他の債務	921	961	40
契約負債	499	438	-61
社債及び借入金	374	345	-29
負債合計	2,295	2,235	-60
資本金・資本剰余金	563	378	-185
利益剰余金	131	447	316
その他の資本の構成要素	118	113	-5
親会社の所有者に帰属する持分合計	811	938	127
非支配株主持分	29	43	14
資本合計	841	981	140
負債及び資本合計	3,136	3,216	80
D/E レシオ	0.5倍	0.4倍	-0.1ポイント

キャッシュ・フロー

単位：US\$M	2022.6	2023.6	増減
営業キャッシュ・フロー	-192	-40	152
投資キャッシュ・フロー	-2	10	12
フリーキャッシュ・フロー	-195	-29	166



Thank you

